

本年度の重点目標		<b>1. 主体性の育成</b>	<b>2. 確かな学力の育成</b>	<b>3. 内外に開かれた教育環境(働きやすい職場環境を含む)の整備</b>
		<b>① 自己有用感、自己指導能力を育む指導</b> <b>② 学校の特色化に資する文武両道の奨励</b> <b>③ 進路指導の充実</b>	<b>① 丁寧で分かる授業の充実</b> <b>② 家庭学習・自主学習等の習慣化に向けた工夫・改善</b> <b>③ 教職員研修の充実</b> <b>④ 新旧2つの学習指導要領への対応と評価</b>	<b>① 働き方改革の推進</b> <b>② 事前、個別、事後を意識した危機管理の徹底</b> <b>③ 教職員の心と身体の健全化</b>
1学年	具体目標	○ルールやマナーを遵守し、自律した生活を送れるよう意識させる。場に応じた行動がとれるよう助言、指導する。 ○部活動、学校行事等、真剣に全力で取り組ませる。集団の中で個性に応じた役割を担えるようにさせる。 ○面談等を通して個別にきめ細やかな進路選択のアドバイスをし、自分で進路について考える力を付けさせる。	○自ら思考・判断する場面をつくり、主体的に課題を解決する力を育成する。 ○Classiやteamsを活用させることにより、スケジュール管理する習慣をつける。家庭学習の成果を記録し、PDCAサイクルを確立する。 ○外部機関等の講習や研修に参加する機会を設ける。 ○3観点評価を実施し、よりよい評価方法を模索していく。	○学年内の分掌を効率的に果たす。 ○配慮を要する生徒を把握し、情報共有を徹底する。生徒の学習環境の整備と改善に努める。 ○お互いに声のかけやすい職場環境作りを目指す。
	具体方策	1)生徒の行動を観察し、不適な行為があればその場で指導すると同時に、とるべき行動を考えさせる。 2)自ら為すべきことを常に見つけさせ、主体的に活動できるよう助言する。また、活躍、貢献できるような場を設ける。 3)広い視野で進路情報を収集させる。	1)授業展開の中に、生徒が主体的、協動的に学習活動する時間を設ける。 2)週毎に振り返りを記録させるとともに、改善するための具体的方策を考えさせ、次の目標を立てさせる。 3)講習、研修の資料等を必要に応じて回覧する。 4)教科間、学年間で情報共有を行いながら、よりよい評価方法になるように試行錯誤していく。	1)起案の際、負担が大きい部分や必要性が薄い部分がないか検討し、必要に応じて協議・改善する。 2)気になることがあった場合は、学年会や担任打合せなどで必ず情報交換する。 3)学年内でコミュニケーションをよく取りながら、負担の偏りがないよう協力体制を築いていく。
2学年	具体目標	○協動的な活動を通して他者から認められ、他者の役に立っていると感じられる絆づくりを進める。また、自らの生活を客観的に見つめ直し自己管理できるようにさせる。 ○学校の諸活動に積極的に取り組ませ集団の一員として進んで貢献できる意識を確立させる。 ○自らの生き方を考え進路選択ができるようにさせる。	○主体的に問題解決に取り組む姿勢やそれに基づいた手立てを準備し「問題意識を生む」「問題意識をつなぐ」という視点を考え授業を行う。 ○基礎学力や応用力をつけるために主体的な学習を習慣づけ、進路への関心を高めさせる。 ○現代的な諸課題に対応するために、多様な教材・資料等を活用する。 ○大学入学共通テストに対応できる能力の促進。	○学年担任間での情報の共有を図る。 ○安全確保に万全を期したうえで自己ベストを目指す。
	具体方策	1)生徒一人一人に活躍の場を設定し、役割を与え、それを果たした努力を承認する。また白手帳を利用し朝食、運動、睡眠などの生活習慣を把握的的確なアドバイスをする。 2)部活動、生徒会、諸行事に主体的に参加させる。また、地域交流、国際交流活動に積極的な参加を促す。 3)総合的な探求の時間や進路学習講座などを通し、進路に対する理解を深めさせる。	1)学習内容に繋がる気付きや疑問を持たせる。また、それに対する考えを明確にし、詳しく表現させる。 2)ClassiやTeams活用し目標設定と振り返りを実施させる。 3)Benesse等のシステムの活用により、多様な大学入試に対応できる能力を養う。 4)全科目で定期考査において論理的思考力を問う問題を1問設定し、1年後の共通テストにつなげる。	1)情報を共有し、風通しの良く、生徒を第一に考えた仕事ができるようにする。 2)安全確保をしながら部活動、生徒会等の行事、及び国際交流や地域連携活動関係の行事へ積極的に参加させ、活動を通して自分の役割を認識し、コミュニケーション能力を伸ばさせる。
3学年	具体目標	○学校行事等に全力で取り組ませる。 ○進路実現のために、実力をつけて進学、就職できるよう努力を継続させる。	○自ら思考・判断する場面をつくり、主体的に課題を解決する力を育成する。 ○充実した進路指導を行うために、新しい情報を生徒に提供出来るよう努力する。	○効率よく学年業務が行える様に、業務内容や方法の整備を行う。
	具体方策	1)自ら為すべきことを常に見つけさせ、主体的に活動できるよう見守る。 2)広い視野で進路情報を収集させる。1ランク上の目標を提示し、達成できるよう助言する。	1)授業展開の中に、生徒が主体的、協動的に学習活動する時間を設ける。 2)様々な大学等の説明会や研修に参加する機会を設ける。	1)各係の業務が効率よく行えるように精選や見直しを行う。 2)teamsを活用し、業務の効率化を図る。
国語科	具体目標	○幅広いジャンルのテキストを、問題意識を持ちながら主体的に読ませ、物事を多角的に捉える力を身に付けさせる。 ○自身の進路に応じた読書活動に主体的に取り組ませ、進路研究や受験に対応できる素養を身に付けさせる。	○基礎的知識の定着を図る。 ○様々なテキストの具体的な読解の方法を身につけさせ、読解力を養う。 ○多様化する現代社会の中での主体的な判断と行動に繋がる論理的思考力を育てる。	○3年間の見通しを持った学習計画のもと、国語科として実施する学習活動を精選し、教員の負担を減らしつつも生徒の学力と主体性を育成する効率的かつ効果的な活動を実施していく。
	具体方策	1)漢字や単語の学習、新聞の社説やコラム学習により語彙力を高めさせる。 2)論理的文章の読解により論理の展開を読み解かせ、要約する力を養う。 3)古典の語彙や文法、表現の特徴を理解させ、読解する力を養う。 4)読書活動記録をつけさせ、幅広い教養と見識を養う。	1)様々なテキストを読むうえで活用できる知識の定着を図る小テストを実施する。 2)授業内容を理解するだけでなく作品読解を通して、どのように読むか、読解のプロセスを身に付けさせる。 3)文学作品や評論が提起する問題を自己の内面に引きつけて考えることにより社会や人間の在り方についての考えを深めさせる。	1)国語科として3年間でどのような生徒を育成していくのか共通理解のもと学習活動を教科内で検討し、教科内はもとより、他教科とも連携しながら効率的かつ効果的な学習活動を実施する。そのうえで、業務の精選・改善を図り、教員の負担軽減につなげる。
地歴公民科	具体目標	○政治・経済・文化・社会など様々な課題について、自分なりの見方・考え方ができる力を養う。 ○基礎知識の定着を図りつつ、発展的課題に取り組む姿勢を養う。	○知識の定着と理解力の向上を図る。 ○授業の質の向上を目指す。 ○新学習指導要領を中心とした対応・評価の実施	○教科内の情報共有
	具体方策	1)課題に対し多角的に考察し、言葉や文章で表現する力を養う。 2)教科書をベースにしつつ、資料等を効果的に用い、応用力を身に付けさせる。	1)画像も含めた効果的な資料も活用し、理解力を高めさせる。 2)研究授業・公開授業の実施、相互参加 3)旧指導要領科目においても新指導要領の要素も取り入れられる。	1)定期テスト問題のデータベース化

数学科	具体目標	○授業時の主体的な活動を通して、学ぶことに興味や関心をもたせ、粘り強く取り組む姿勢を育てる。	○身の回りの事象を数学的に解釈し、表現・処理できる能力の深長を図る。	○教科担当者間での情報の共有を図る。
	具体方策	1)グループ活動を通して、自己の考えや解法の方針を発表する、あるいは他の意見を検討する教育活動を実施する。 2)様々な解法を探求する中で、考え方の多様性を育む。	1)研究授業の実施および研究協議の充実やICT活用法の共有により、授業力の向上を図る。 2)生徒の実態に即した課題の提示やテストを実施し、骨太な学力を育成する。 3)新旧2つの学習指導要領に即した指導と評価の一体化を図り、情報を共有する。	1)授業進度や指導法・教材の工夫などの情報を共有・蓄積し、学年を超えた指導の充実を図る。 2)教員間の協働を図り、風通しのよい環境を作る。
理科	具体目標	○科学的思考力を育成し、探究や実験の過程において自発的な発言・行動ができるように促す。	○進路に応じた各科目の学習方法を確立させる。	○実験・実習における安全管理を徹底し、生徒への周知と職員間の連携に努める。
	具体方策	1)授業中の質問等を工夫することにより、常に思考する姿勢を生徒に身につけさせる。 2)実験をととして、授業で学んだ知識を深化させると共に、各々の関わり的重要性に気づけるよう指導する。 3)生徒の進路希望を把握し、授業や課外で生徒に適切な指導をする。	1)思考の過程を重視し、単なる丸暗記に終わらないよう日頃から指導する。 2)生徒の理解度や到達度に応じた小テストなどをこまめに実施し、基礎力の確実な定着を目指す。 3)新学習指導要領に即した指導と評価の一体化を図る。	1)実験室等のこまめな整理整頓を心掛ける。 2)生徒自身の安全に対する意識を高めさせるため、「実験室の使い方」や「実験をするときの注意」についてガイダンスを行う。 3)有事の際に早急に適切な対応ができるよう、日頃から科内の連携を図る。
保健体育科	具体目標	○心身の調和のとれた発達を促し、健康で安全な生活を営む態度を養う。 ○自主的な授業への取組により、生涯にわたって豊かなスポーツライフが継続できる実践力が身につく指導に努める。 ○運動の合理的、計画的な実践による体力・技術の向上及び社会的態度を育成する。 ○全ての指導において、礼法指導等を通じた道德教育を行い、状況に応じて主体的に考え実践する態度を養う。	新学習評価法の構築 【知識・技能】 ○自己のねらう運動の知識について、言ったり書いたりできる。 ○習得した知識を、自分なりの考えとして言ったり書き出したりできる。 ○目的の実現へ向かう過程及び結果において、段階的に技能を身に付けたり、目的とする動きを身に付ける。 【思考・判断・表現】 ○自己やグループがねらう目的を見つけ、目的にあった計画を設定できる。 ○目的の実現へ向かう過程において、自己の課題に応じた活動を選んだり、運動の取り組み方を工夫できる。 ○自己のねらう運動の知識について、言ったり書いたりできる。 ○習得した知識を、自分なりの考えとして言ったり書き出したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○目的の実現のために、互いに助け合い、課題解決のための資料を集めたり調べることができる。 ○自己やグループの目的の実現に向けて、役割を引き受け、自己の責任を担うことができる。	○未然防止に向けた取組（事前の危機管理） ○危機発生時の対応（発生時の危機管理） ○対応の評価と再発防止に向けた取組（事後の危機管理）
	具体方策	1)保健や体育理論で運動の重要性を理解させ、体育で実践させる。 2)体育委員や種目リーダーを中心に個人や団体の課題解決ができる生徒主体の授業展開を促す。 3)自校体操やサーキットトレーニングの必要性を理解させ積極的に取り組ませる。 4)教室の出入りや先生方への言葉遣いについての礼法指導を徹底する。	1)必要な知識を習得し、自己の動きや体力の状況を確認することを通して自己の課題を設定させる。また、目的を実現するための見通しをもつことにより目的意識を明確にさせる。 2)習得した知識や既存の知識を使い、動きと場を変容させたり、理想の動きと自己の実態を比較したりして立てた計画を実行させる。 3)計画して実行した運動内容を評価したり、改善策を考えたりすることを通して、自己の運動を振り返らせる。	1)過去に発生した事例の危機発生の原因や経過等の分析・検討、また生徒・保護者からの情報収集により、問題の早期発見に努め、危機に至る前に解決するよう取り組む。 2)日ごろから、一人一人の生徒への継続的な支援や施設・設備に関する定期的な点検等を行い、危機の未然防止に努める。 3)連絡ツールを活用し、報連相確を充実させる。
芸術科	具体目標	○芸術文化について理解を深め、望ましい人格の完成を目指す。 ○興味関心を持って積極的に授業に取り組みながら、芸術を愛好する態度を養い、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てる。	○生徒の言語活動の向上を目指した授業を実践する。	○教科間での情報共有 ○使用教材の精選
	具体方策	1) 諸活動を通じて基礎的知識・技能を習得し、表現力・想像力を育成する。 2) チャイムtoチャイムの徹底と1分前授業準備。 3) 教材や備品等を大切に扱う。	1) 生活の中に美的感動を発見する態度を養う。 2) 自他の作品や発表を鑑賞し、根拠を持って批評・評価を生徒間で行う。	1) 音楽書教科間で各クラスの生徒の様子や雰囲気等の情報を共有し問題の早期発見・早期解決に取り組む。 2) 使用教材を衛生面からも工夫をし、安全を確保して学習に取り組ませる。
英語科	具体目標	○基礎学力の充実を図るために授業を大切に作る姿勢を養成する。 ○英語の知識を深め表現力を高めるとともに、視野を広げ積極的にコミュニケーションを図る態度を育成する。	○上位者を伸ばすための個別指導、不振生徒の早期発見、早期指導に努める。 ○学習意欲喚起に向けた指導を工夫する。	○外部試験の積極的受験を促す。 ○日頃からの情報共有
	具体方策	1)予習・復習の徹底を図る。 2)真摯な態度で授業に取り組ませる。 3)小テスト等により継続的学習を促す。 4)各種大会への参加を促す。 5)読書や新聞、インターネット等、様々な媒体を使い教養を高めるよう指導する。	1)上位者への個別指導を徹底する。 2)週末課題、朝学等により家庭学習を習慣付ける。	1)外部模試の紹介や案内を充実させる。 2)教科打ち合わせなどを活用し、生徒理解のための情報共有の徹底を図る。
家庭科	具体目標	○家族や友人・地域の方との交流の中で相互扶助の精神を持ち、自ら考えて行動できる力の育成・向上を目指す。	○学校（知識、体験）と家庭生活（実践、定着）をつなげる授業の実施。	○安全・衛生面の徹底
	具体方策	1)諸活動を通し、他者の考えを知り、共有することにより視野を広げる機会を多く取り入れた授業を展開する。	1)生徒の生活実態に応じ、もう一度やってみようという気持ちになる教材を提示し、定着を図る。	1)共有備品・使用教室の使い方の指導と整備、消毒の実施に努める。

情報科	具体目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主体的な活動を通して自己表現力の育成に努める。</li> <li>○活動を通して自らを客観視し、進路に関する自己理解を深める。</li> <li>○発表する機会を通して他者と認め合い、自他を尊重する姿勢を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主体的に問題解決に取り組むことで、メディアリテラシーを育む。</li> <li>○新学習指導要領に即した指導と評価の一体化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教科担当者間での情報の共有を図る。</li> <li>○衛生面での安全を確保して学習に取り組む。</li> </ul>
	具体方策	<ol style="list-style-type: none"> <li>1)学習課題を提示し、どのように解決するかをまず自分たちで考えさせる。</li> <li>2)自分についてのプレゼンテーションを作成することで、自分を客観視させる。また、クラス発表を通して他人を尊重する姿勢を育む。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1)研究授業の実施および研究協議の充実により、授業力の向上を図る。</li> <li>2)Teamsを活用した課題配信・添削を実施し、生徒の到達度・進度に即した指導で骨太な学力を育成する。</li> <li>3)理論の学習と実習のそれぞれの場面に即した規準を検討し、評価する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1)情報を共有し、風通しの良く、生徒の事を第一に考えた仕事ができるようにする。</li> <li>2)共有PCを使った授業において、衛生面での安全確保をしながら作業できるようにする。</li> <li>3)使用教材や資料を可能な限り共通化し、業務の効率化を図る。</li> </ol>
教務部	具体目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国際理解教育、地域連携活動に協力する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒の適性・能力に応じた学習指導を充実する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○業務が効率よく行える様に、業務内容や方法の整備を行う。</li> </ul>
	具体方策	<ol style="list-style-type: none"> <li>1)学校全体の対応として積極的に協力する。HPを充実させる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1)今年度からの教育課程が生徒の適性や進路希望に即しているかチェックし検討する。</li> <li>2)研究授業を充実させる。</li> <li>3)GIGAタブレットや校務支援システムの活用に関する校内研修を行う。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1)各係の業務の進捗を管理し、業務を効率よく行えるように精選や見直しを行う。</li> <li>2)行事の精選、見直しを行う。</li> <li>3)校務支援システムを活用し、業務の効率化を図る。</li> </ol>
渉外部	具体目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校と家庭、地域との連携をはかり、生徒の社会性を育む教育活動を推進する。</li> <li>○保護者間の連携を深め、学年部会、各種専門部会、支部会活動の充実を図る。</li> <li>○PTA、同窓会、白鷺会、各種団体との連携を図り、円滑に事業を実施し、さらなる学校発展に寄与する。</li> </ul>	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>○PTA役員保護者の負担を考え、運営委員会や専門部会を精選し、来校する回数を減らせるよう努力する。</li> <li>○PTA生活指導部保護者協力の登校時の交通立哨指導により、自転車通学の生徒の安全確保の一助とする。</li> </ul>
	具体方策	<ol style="list-style-type: none"> <li>1)PTA活動について、役員、学年委員、支部会活動理事などが中心となり、学校と家庭の連携を密にして、充実した教育活動を推進する。</li> <li>2)同窓会活動について、同窓会理事と連絡を密にしながら、連携を取り、活動を円滑に行えるように努める。</li> </ol>	/	<ol style="list-style-type: none"> <li>1)PTA会長・副会長及び執行部役員と綿密にコンタクトをとり、意見を伺い、決定していく。</li> <li>2)本校生徒指導部交通係と連携し、交通立哨指導を計画・実行していく。</li> </ol>
健康指導部	具体目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康の保持増進を図る。</li> <li>○気力・体力の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校舎内外の美化に努め、公共物の愛護の心を養成する。</li> <li>○緑化の推進にあたる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○防災・安全対策を適切に実施する。</li> </ul>
	具体方策	<ol style="list-style-type: none"> <li>1)保健室運営方針に基づき、保健計画を適正に実施する。</li> <li>2)「保健みなみ」を活用し、保健委員の活動を指導する。</li> <li>3)クラス出席率99%以上を目標とし、教育相談と連携を図りながら養護指導を行う。</li> <li>4)体育活動を通し体力の向上を図る。</li> <li>5)体育施設の整備・用具の充実を図る。</li> <li>6)校内マラソン大会を成功させるよう事前準備を十分に行う。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1)全職員が清掃監督に当たり清掃美化を徹底する。</li> <li>2)校内美化の意識を養う。</li> <li>3)花壇整備など、緑化活動を積極的にすすめる。</li> <li>4)勤労体験の場をつくり、奉仕の精神を涵養する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1)消防・防災・避難計画により安全・迅速に行動するように努める。</li> <li>2)施設・設備の定期的な点検を実施し、事故防止に努める。</li> </ol>
学習指導部	具体目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主体的に学習に取り組む態度を育成する。</li> <li>○自己の将来につながる課題を見つけて解決を図る探究学習を実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業改善、学習評価の工夫（新旧学習指導要領に基づいて）に取り組む。</li> <li>○将来を見据えた振り返り・改善を行うことで、家庭学習を習慣化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導部内分掌、学年、教科を通じて情報共有に努め、共通認識の下、業務の効率化を図る。</li> <li>○学習不振、学校不適応生徒に対して、教育相談、学年・教科等との連携を図り、迅速適切な対応を行う。</li> </ul>
	具体方策	<ol style="list-style-type: none"> <li>1)主体的学習態度の育成 <ol style="list-style-type: none"> <li>①10分前登校と朝学の奨励</li> <li>②学習生活ノート（白手帳）やClassiの有効活用</li> <li>③教科係やホームルーム委員長など役割を通じた主体性の育成</li> <li>④人権教育・主権者教育・福祉教育・国際理解教育・地域連携活動・図書活動等の教育活動を通じた学習意欲の喚起と実践</li> <li>⑤「南爽ルーブリック」を踏まえた生徒への学習指導</li> </ol> </li> <li>2)探究学習の実践と充実 <ol style="list-style-type: none"> <li>①各学年における自己の将来を見据えたテーマ選択、探究活動の実践</li> <li>②各教科での探究的学習姿勢の育成</li> </ol> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1)授業改善、学習評価の工夫 <ol style="list-style-type: none"> <li>①AL授業の実施や学習評価の工夫（ルーブリックによる評価）</li> <li>②授業見学の励行</li> <li>③研究授業、授業研究会、教員研修会の開催</li> </ol> </li> <li>2)家庭学習の習慣化 <ol style="list-style-type: none"> <li>①学習生活ノート（白ノート）やClassiの有効活用</li> <li>②適切な課題・小テストの実施</li> <li>③スタディサポートの有効活用</li> </ol> </li> <li>4)授業及び定期試験等を通じた学習到達度の把握と個別対応</li> <li>5)成績不振者への支援（試験前、その他）</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1)情報共有等による業務の効率化 <ol style="list-style-type: none"> <li>①各担当、学年、教科の連携による指導の充実および業務の効率化</li> <li>②年間学習指導計画の共有と、各教科等の横断型授業の実施による生徒の幅広い知識習得等への工夫</li> </ol> </li> <li>2)対応の迅速化 <ol style="list-style-type: none"> <li>①関係各部との情報共有・連携強化による学習不振、学校不適応生徒に対する迅速かつ適切な対応</li> </ol> </li> </ol>

進路指導部	具体目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○進路実現のため生徒自ら励むとともに、力を伸ばすために生徒同士が協働するよう意識を高める。</li> <li>○校内外の諸活動への参加を促し、生徒の個に合った強みを育成する。</li> <li>○生徒が納得できる進路選択に向け、助言および情報提供を充実する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○進路実現に向けた、思考力、判断力、表現力を伸ばす授業を行う。</li> <li>○生徒に進路に対する関心を高めさせ、計画的な学習ができるよう指導する。</li> <li>○新課程科目での授業実践の共有と、研究会等への参加を促進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○部および学年担任との連携と情報の共有を図る。</li> <li>○生徒がベストの状態での活動できるよう、安全確保に万全を期す。</li> </ul>
	具体方策	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学年・クラスで、進路実現に向けた共通意識を形成し、相互の支え合いや励まし合いにより努力できる環境作りを進める。</li> <li>2) 部活動、生徒会活動のほか、ボランティア活動、学校説明会等への積極参加を勧める。</li> <li>3) 進学、就職に関する情報を収集し、速やかに生徒・保護者に提供できるよう努める。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 入学試験や入社試験の問題を適宜分析し、求められている力が身につくよう課題、発問等を工夫する。</li> <li>2) 白手帳やClassiを利用させ学習記録の習慣をつけさせ、随時ふり返ることにより学習の質を高めていく。</li> <li>3) 教科打合せで、授業の実践事例や参加した研究会の要旨等を共有する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 面談等で得た生徒の情報を、学年および進路部教員との共有に務める。</li> <li>2) 学年集会やHR等で、受験や校外活動の際には安全面の指導についても徹底する。</li> </ol>
生徒指導部	具体目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己指導能力を育成し自信と誇りを持てる生徒の育成</li> <li>○教育相談活動などの一層の活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いじめ防止と安心して学業に励むことのできる環境の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒に応じた生徒指導諸問題への対処</li> </ul>
	具体方策	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自己指導能力を高め自信と誇りを持てる生徒を育成する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 凡事徹底と基本的生活習慣を確立する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 制服を正しく着用させ学校への帰属意識を高める。</li> <li>・ 遅刻指導と「チャイムtoチャイム」を徹底する。</li> <li>・ 気持ちの良いあいさつや礼儀が良き伝統となるよう指導する。</li> </ul> </li> <li>② 自己管理能力を育成する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自ら交通ルールを遵守する態度を養い交通事故を半減させる。</li> <li>・ 貴重品管理の指導を継続し、盗難を未然に防止する。</li> <li>・ 整理整頓を心掛けさせ、遺失物を減少させる。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>2) 教育相談活動などの一層の活性化を図る。 <ol style="list-style-type: none"> <li>① SCを活用した特別支援の体制をより充実させる。</li> <li>② 個人面談での情報を職員間で共有し、不登校生徒などの早期発見や早期対応に努める。</li> </ol> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) いじめ防止と安心して学業に励むことのできる環境の整備 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 毎月のいじめアンケートの実施を通じ、いじめを未然に防止するとともに、安心して授業等に集中して取り組むことのできる環境を整備する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 改訂「いじめ防止基本方針行動計画」を職員間で共有、徹底する。</li> </ul> </li> <li>② 規範意識や人権意識の高揚、自己有用感を育成する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日々の生活において、一般社会に通用する規範意識や礼儀作法やマナーなどを身につけさせる。</li> </ul> </li> </ol> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 生徒に応じた生徒指導諸問題への対処 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 各係の円滑な職務の遂行と、問題発生時に迅速かつ柔軟に対応できるよう部内での協力体制を構築する。</li> <li>② 日常から各部・各係、各学年との連携を深め、生徒に応じた指導となるよう諸問題に対処する。</li> </ol> </li> </ol>
特活部	具体目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒会活動の充実を図る。</li> <li>○部活動の一層の充実を図るとともに適切な運営を検討する。</li> <li>○ホールーム活動の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国際理解教育・インターアクト、地域連携、福祉教育との連携を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多くの行事を実施可能にする危機管理の徹底と学校行事の変更に対する臨機応変な対応を図る。</li> </ul>
	具体方策	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 生徒会役員をはじめホームルーム役員等のリーダーシップをとれる生徒の育成を図る。</li> <li>2) 諸行事では生徒の自主的・創造的活動の活性化を目指し、積極的で緻密な企画・運営がなされるよう指導する。</li> <li>3) 部活動への参加を奨励し、個々の特性・能力の伸長を図る。</li> <li>4) 礼儀正しい人間を育成する。単に技能だけを高めるのではなく、お互い協力し助け合う等、心豊かな生徒を育てる。</li> <li>5) 学習状況、通学状況、健康管理等、関係職員との連携を密にし、個々の生徒への共通理解の深化を図る。</li> <li>6) 部活動の在り方、活動時間や練習内容など、他校の模範となる部活動運営計画を構築する。</li> <li>7) 十分な時間数を確保し、綿密な年間計画、事前準備等により円滑な運営が行われるよう努める。</li> <li>8) 学校生活の基盤としての場であるので、クラス内の融和を図るとともに、自主的・自律的な態度を育てる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学習指導部の国際理解教育・インターアクト係、地域連携・福祉教育係と生徒会が連携を図れるように留意する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策を速やかに実施するとともに、感染拡大による行事の中止、変更に対応する。</li> <li>2) 最悪を想定し慎重に素早く誠実に組織で動く。</li> </ol>
事務部	具体目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設・設備の充実を図る。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○不具合施設・設備に迅速に対応する。</li> </ul>
	具体方策	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 適時適切な施設整備計画を作成し、効率的な予算執行に努め、施設・設備の充実を図っていく。</li> <li>2) 各部との連携を密にし、整備要望の把握に努める。</li> </ol>		<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 日常の巡回巡視において、不具合箇所の早期発見に努める。</li> <li>2) 特に危険箇所については、修繕対応（予算要求）を迅速に行い、生徒・教職員の安全を担保する。</li> </ol>